

### 3. 環境を大切にしたい交通体系をつくる

#### 今、求められていること

- 慢性的な交通渋滞が問題になっている中で、二酸化炭素の排出量が少ないなど、環境にやさしい交通体系に転換することが、求められています。
- 環境負荷の低減や公共交通の利便性、快適性の向上を求め、新たな交通体系の検討が求められています。こうした中で、市民団体等によるLRT<sup>※</sup>(次世代路面電車)の調査・研究が進められています。

#### 取り組みの方向

- TDM (交通需要マネジメント) <sup>※</sup>により、マイカーから公共交通への転換や、自転車利用促進など、市民・事業者・行政の連携・協力により、交通渋滞を減らす取り組みを進めます。
- 交通や環境に関する学習や公共交通の利用啓発などを通じて、MM (モビリティ・マネジメント) <sup>※</sup>を実施します。
- コミュニティバス<sup>※</sup>の導入やバス路線の拡充・拡大などにより、公共交通機関の利便性の向上を促進します。
- 環境負荷の少ない交通体系を確立するため、便利で環境に配慮した新たな交通体系を構想します。

#### <主要な取り組み>

- 公共交通機関利用の促進
- サイクル&バスライド<sup>※</sup>の促進
- バス走行に適した道路環境の整備